



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 リコーリース株式会社

コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 有川 貞広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 長田 泰賢

TEL 03-6204-0608

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	172,605	0.3	13,227	13.9	13,238	14.5	7,501	12.3
23年3月期第3四半期	172,063	0.3	11,616	36.3	11,561	37.7	6,680	35.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,458百万円 (11.2%) 23年3月期第3四半期 6,707百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	240.31	—
23年3月期第3四半期	213.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	638,975	108,107	16.9
23年3月期	617,109	101,882	16.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 107,842百万円 23年3月期 101,648百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
24年3月期	—	19.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	19.50	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,000	1.4	17,000	38.8	16,900	38.6	9,800	39.6	313.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	31,243,223 株	23年3月期	31,243,223 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	26,004 株	23年3月期	25,964 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	31,217,227 株	23年3月期3Q	31,217,315 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年10月25日に公表いたしました連結業績予想を変更していません。
2. 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 追加情報 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(第3四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	172,063	172,605	542	0.3
営業利益(百万円)	11,616	13,227	1,610	13.9
経常利益(百万円)	11,561	13,238	1,676	14.5
四半期純利益(百万円)	6,680	7,501	821	12.3
1株当たり四半期純利益 (取扱高)	213円99銭	240円31銭	26円32銭	
リース・割賦事業(百万円)	173,016	190,191	17,175	9.9
金融サービス事業(百万円)	10,487	17,496	7,009	66.8
取扱高合計(百万円)	183,503	207,688	24,184	13.2

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復基調にあるものの、タイの洪水、欧州債務危機、円高などにより依然として先行きは不透明な状態が続いています。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、有力ベンダーへの付加価値提供の強化や優良ユーザーへの接点強化を行いました。また、復興需要への対応や新規分野の開拓にも注力しました。その結果、取扱高は前年同期比13.2%増加の2,076億円となりました。売上高は前年同期比0.3%増加し1,726億円となりました。政府の金融支援策の効果により貸倒費用が大幅に減少したことに加え、資金調達費用が減少したことで、営業利益は前年同期比13.9%増加し132億円となりました。法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴う繰延税金資産の取り崩しはあったものの、四半期純利益は75億円と前年同期比12.3%の増加となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	168,076	168,474	397	10,690	12,292	1,601	467,837	475,656	7,819
金融サービス	3,285	3,434	149	1,400	1,467	66	74,439	83,095	8,656
報告セグメント計	171,362	171,908	546	12,091	13,759	1,668	542,277	558,752	16,475

#### 【リース・割賦】

リース・割賦事業は、主力である事務用・情報機器や医療機器などの伸長に加え新規分野の開拓などが奏功し、取扱高は1,901億円と前年同期比9.9%増加しました。その結果、営業資産残高は前期末比78億円増加し、4,756億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比0.2%増加し1,684億円となりました。貸倒費用の減少や資金調達費用の減少により、セグメント利益は前年同期比15.0%増加し、122億円となりました。

#### 【金融サービス】

金融サービス事業は、住宅関連融資や医院開業向け融資などが伸長し、取扱高が前年同期比66.8%増加し174億円となりました。その結果、営業資産残高は前期末比86億円増加し830億円となりました。また、売掛金集金代行サービスも順調に伸長したことから、売上高は前年同期比4.5%増加し34億円となりました。セグメント利益は前年同期比4.8%増加し14億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月31日)	増減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	617,109	638,975	21,865	3.5
*営業資産(百万円)	545,504	569,802	24,297	4.5
その他(百万円)	71,604	69,172	△2,432	△3.4
純資産(百万円)	101,882	108,107	6,224	6.1
自己資本比率(%)	16.5	16.9	+0.4	

\*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

当第3四半期末の総資産は、営業資産残高が242億円増加したことにより、前期末比3.5%増加し6,389億円となりました。

【純資産】

純資産は、当四半期純利益による75億円の増加と、剰余金の配当12億円による減少で、前期末比62億円増加し、1,081億円となりました。自己資本比率は前期末比0.4ポイント上昇し、16.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間の連結業績は順調に推移しており、平成23年10月25日に公表した平成24年3月期連結業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,056	1,000
受取手形及び売掛金	25	46
割賦債権	45,037	46,703
リース債権及びリース投資資産	418,089	423,059
営業貸付金	77,667	94,146
その他の営業貸付債権	17,362	17,948
その他の営業資産	4,890	4,955
賃貸料等未収入金	8,753	8,341
その他の流動資産	44,722	43,549
貸倒引当金	△15,051	△14,983
流動資産合計	603,553	624,767
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	8,400	9,482
社用資産	712	621
有形固定資産合計	9,112	10,104
無形固定資産		
賃貸資産	84	251
その他の無形固定資産	1,814	1,576
無形固定資産合計	1,899	1,828
投資その他の資産		
投資有価証券	753	619
その他	1,789	1,655
投資その他の資産合計	2,543	2,274
固定資産合計	13,555	14,207
資産合計	617,109	638,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,456	14,876
短期借入金	146,627	79,451
1年内返済予定の長期借入金	107,711	38,694
コマーシャル・ペーパー	—	67,000
未払法人税等	4,763	1,117
割賦未実現利益	3,775	3,840
賞与引当金	658	356
役員賞与引当金	15	—
その他の流動負債	38,454	40,631
流動負債合計	319,462	245,967
固定負債		
社債	75,000	75,000
長期借入金	117,216	205,985
退職給付引当金	548	569
その他の固定負債	3,000	3,345
固定負債合計	195,764	284,900
負債合計	515,227	530,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	83,499	89,768
自己株式	△46	△46
株主資本合計	101,510	107,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137	62
その他の包括利益累計額合計	137	62
少数株主持分	233	264
純資産合計	101,882	108,107
負債純資産合計	617,109	638,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	172,063	172,605
売上原価	149,580	149,731
売上総利益	22,482	22,873
販売費及び一般管理費	10,866	9,646
営業利益	11,616	13,227
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
その他の営業外収益	28	16
営業外収益合計	38	27
営業外費用		
支払利息	19	13
社債発行費	64	—
その他の営業外費用	9	2
営業外費用合計	93	16
経常利益	11,561	13,238
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59	—
特別損失合計	59	—
税金等調整前四半期純利益	11,501	13,238
法人税、住民税及び事業税	5,142	4,495
法人税等調整額	△368	1,209
法人税等合計	4,774	5,705
少数株主損益調整前四半期純利益	6,727	7,533
少数株主利益	47	31
四半期純利益	6,680	7,501

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,727	7,533
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△20	△74
その他の包括利益合計	△20	△74
四半期包括利益	6,707	7,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,660	7,427
少数株主に係る四半期包括利益	46	30

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は284百万円減少し、その他有価証券評価差額金が4百万円、法人税等調整額が289百万円それぞれ増加しております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,076	3,285	171,362	701	172,063
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	168,076	3,285	171,362	701	172,063
セグメント利益	10,690	1,400	12,091	138	12,229

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,091
「その他」の区分の利益	138
全社費用(注)	△612
四半期連結損益計算書の営業利益	11,616

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,474	3,434	171,908	696	172,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	168,474	3,434	171,908	696	172,605
セグメント利益	12,292	1,467	13,759	145	13,905

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	13,759
「その他」の区分の利益	145
全社費用（注）	△677
四半期連結損益計算書の営業利益	13,227

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。